

令和元年紫波町議会報告会 町政に関する質問

番号		町政に関する質問	会場
1	質問	介護用の椅子、杖、手押し車、電動車椅子など、使用者が増えるのではないかと。これらの助成はできないのか。	中陣公民館
	回答	介護保険の要介護認定を受けている方は、本人の状態に合わせて杖や歩行器等をレンタルする福祉用具貸与サービス、入浴補助用具やポータブルトイレなどを購入する特定福祉用具販売サービスを利用することができます。これらはそれぞれ特定された品目ではありますが、実際の金額の1～3割で利用することができます。	
2	質問	敬老会を各地区でやるとすれば補助金の考えはあるのか。	中陣公民館
	回答	来年度以降の敬老会の実施については、高齢者を敬うという敬老会の趣旨を変えずに、公平性、継続性を担保するため、町が主催者となり、75歳に到達した方を対象に一堂に会する方式で行う方針案を示したところですが、今後も敬老会の在り方については、パブリックコメント等により意見を聴き、引き続き検討してまいります。 また、各地区への補助金の交付については、各地区の公平性、継続性を考慮して必要性を検討する必要があるものと考えております。	
3	質問	古館駅西側の乗降口について、要望していたがどうなっているのか。	中陣公民館
	回答	古館駅西側の乗降口につきましては、過去に発生した県内無人駅の駅構内での人身事故に伴い、鉄道利用者の安全対策のために西側にフェンスが設置されております。 町ではJRと門扉開放の協議を行いましたが、鉄道利用者の安全確保のためには人的配置による対応が必要との見解が示されております。駅構内への西側からの出入りについては、現在では難しい状況となっておりますが、引き続きJRに対して働きかけを行ってまいります。	
4	質問	今後、さらに過疎化が進むと考えられる。これからの下水道事業をどのように考えるのか。	桜町北通公民館
	回答	下水道事業は多額の投資により整備され、借入金の返済額は使用料収入を大幅に超えており、そのほとんどを一般会計からの繰入金（税金）に頼っている状況です。人口減少の進行や節水型器具の普及による汚水量の減少など、経営環境の動向を注視し、経営戦略の継続的な見直しを行いながら使用料改定の検討をしております。 また、下水道施設においては処理水量の減少により施設利用率の低下が考えられます。施設更新時には、処理能力の余剰分を最小限にとどめるため、現状維持、ダウンサイジング又は施設統合による利用停止など、効率性を重視した施設の見直しにより、コスト削減に取り組みながら下水道サービスの提供を継続してまいります。	
5	質問	有線放送が無くなって、インターネットを使えない人たちへの防災対策はどうなっているか。大槌町では防災ラジオの貸与をしている。矢巾町では盛岡のラジオの電波を利用している。	平沢北通公民館
	回答	現在、携帯電話やインターネット等を使えない高齢者世帯等には、テレビのデータ放送やラジオ放送、役場の広報車や消防団による周知体制を築いており、自主防災組織等には避難支援が必要な方の把握と支援体制の構築をお願いしているところです。 また、防災情報等を配信する「戸別受信機」については、町内全域で受信できる機器の選定やシステム構築には時間と多額の費用を要するため、導入に係る検討を慎重に進めています。	

令和元年紫波町議会報告会 町政に関する質問

番号		町政に関する質問	会場
6	質問	紫波中央駅の東側駐車場から、アンダーパスを通らずに駅まで行ける通路の設置について、現状はどこまで話が進んでいるか。	平沢北通公民館
	回答	<p>紫波中央駅への東側からのアクセス通路の設置につきましては、これまでもJR東日本盛岡支社と交渉してきておりますが、解決しなければならない課題が多く、まだかなりの時間を要するものと考えております。</p> <p>町では駅利用者の利便性の向上を図るため、住民からの要望が多いエレベーター設置によるバリアフリー化を優先して進め、アクセス通路についてはその後の実施に向けて協議や交渉を進めていくことを考えております。</p>	
7	質問	花巻市が医大までのバスを運行しているが、町としてできないのか。	樋ノ口公民館
	回答	<p>現在、コミュニティバス「すこやか号」に代わる交通手段として「デマンド型乗合バス」の運行を令和2年4月から予定しておりますが、町にはこの乗合バス以外にも多くの公共交通があり、他の交通事業者や他市町村との協議、調整を行う必要があることや、他の交通事業者の経営の圧迫にも繋がることを考えると、この乗合バスが医大まで運行することは困難であると認識しております。</p> <p>持続可能でより良い公共交通環境を整えていくためには、多くの公共交通が共存していく必要があります。</p> <p>町内の移動には乗合バスやタクシーを、町外への移動にはタクシーや鉄道、岩手県交通が運行する路線バスをご利用いただくなど、既存の公共交通をうまく組み合わせてご利用いただければと思います。</p>	
8	質問	町の遺跡である月の輪形や蜂神社、陣ヶ岡公園の維持管理を陣ヶ岡愛護会が行っているが、難しくなっている。補助、援助をしてもらうことはできないか。	宮手公民館
	回答	<p>町では指定文化財（有形文化財、史跡名勝天然記念物、民俗文化財等）の保存活用・管理経費に対し、予算の範囲内で補助金の交付を行っております。遺跡（周知の埋蔵文化財包蔵地）に対する補助金の交付は現在のところ行っておりませんが、環境整備等に民間団体の助成制度等が活用できる場合があります。</p> <p>また、陣ヶ岡公園の維持管理につきましては、委託金額の増額は難しい状況にあるものの、今後も引き続きお願いしたいと考えております。</p>	
9	質問	災害時に避難準備、指示、避難所等ほどの様な方法で周知を図るのか。また、避難準備、指示等が発出された場合、高齢者等の要支援者をどの様な方法で避難させるのか。	日詰14区公民館
	回答	<p>現在、町が行う防災情報の伝達方法については、携帯電話やスマートフォンへの一斉配信のほか、これらを保有しない高齢者世帯等にはテレビのデータ放送やラジオ放送、役場の広報車や消防団による周知体制を築いており、自主防災組織等には避難支援が必要な方の把握と支援体制の構築をお願いしているところです。</p> <p>また、高齢者や要支援者等の避難支援については、自主防災組織を中心とした支援体制の構築が前提となるため、これに必要な研修会等を開催しております。それぞれの地域において、支援が必要な方々の把握とその方々を誰が支援するのか、災害が発生する前にあらかじめ決めておき、避難訓練を実施することが重要と考えています。</p>	

令和元年紫波町議会報告会 町政に関する質問

番号		町政に関する質問	会場
10	質問	東北電力の寄贈による街路灯設置は無くなったのか。	日詰14区公民館
	回答	東北電力からの街路灯の寄贈は、先方からの申し出によるものであり、前回平成29年度以降寄贈の申し出がない状況ですが、今後とも継続していただくよう要望しております。	
11	質問	基金の額が少ないということだが、災害によって受けた被害に対してどのような予算を使うのか。	高木公民館
	回答	町の財政調整基金残高は、平成30年度決算で約6億6千万円となっており、過去10年間は5億から7億円の残高で推移しています。 平成25年の大雨被害においては、災害発生から約5年間災害復旧事業が行われ、多い年では年間14億円の災害復旧にかかる費用が支出されています。 大規模な災害の場合は国からの財政支援などにより道路や河川の災害復旧工事などが行われますが、国庫補助対象とならない災害の仮復旧や被害の調査を行うなど当面必要となる工事費などについては、基金からの取り崩しにより財源を捻出する必要があります。 このように緊急に財源が必要となる場合に備えて基金残高を確保しておく必要があります、基金残高の増強が必要となっています。	
12	質問	役場庁舎、オガールエリアの維持管理はどこでやっているのか。	高木公民館
	回答	オガールエリアの施設の維持管理については、それぞれの事業者が行っております。なお、役場庁舎についてはPFI手法により(株)紫波シティホールが維持管理を行っており、オガール広場や緑地、紫波中央駅前駐車場などは町が管理しています。	
13	質問	林業の活性化を達成するには木材加工の工場誘致をしなければならないのではないか。	高木公民館
	回答	林業の活性化に木材の加工を担う工場の存在は必要不可欠ですが、当町から50Km圏内には集成材や合板の工場が既に整備、又は整備される計画があり、それぞれの工場で連携しながら住宅用から大規模施設に対応した製品を流通管理させる仕組み（サプライチェーン）ができあがっております。このことから、更なる工場の誘致は難しいものと考えております。	
14	質問	後継者不足により増えている耕作放棄地の有効利用についての働きかけをしているのか。	高木公民館
	回答	農業委員、農地利用最適化推進委員が農地パトロールを行い、農家の意向をききながら耕作放棄地の再生、未然防止を図っています。また、中山間など再生困難な場所は、山林などとして活用できるよう非農地判定しています。有効利用については、農地の場所、規模など個々の状況を踏まえて所有者の意向とあわせて進めています。	
15	質問	総合戦略の「町の基幹産業である農林業にみがきをかける」とあるが、何をして磨きをかけたのか。	高木公民館
	回答	【この質問には議会から回答します】 総合戦略に該当の記述はありませんでしたが、町では農業を基幹産業と位置付け、生産活動や農業経営の取り組みに対し支援を行っています。議会では、引き続き農林業に関する施策を注視してまいります。	

令和元年紫波町議会報告会 町政に関する質問

番号		町政に関する質問	会場
16	質問	森林資源の循環、経済の循環事業を取り入れてオガールプロジェクトに引き継いだ。その実績は。また、建築木材に町内の木材を使用されているのか。	高木公民館
	回答	<p>オガールエリア内における森林資源循環の取り組み状況は、オガールプラザでは100%地域産材（県産材）であり、特に町産材の使用を重視しています。梁はカラマツ、柱はスギを使用しており、木材の使用量は846m³です。</p> <p>役場庁舎は100%町産材（カラマツ、アカマツ、スギ）を使用し、使用量は1,104.2m³です。</p> <p>オガールタウン日詰二十一区内の住宅建築には、紫波型エコハウス基準を定めており、構造材の80%以上に町産材を使用することとしております。また、民間施設であるオガールベースやオガール保育園も地域産材を使用して建設されています。</p> <p>そのほか、オガールタウンの住宅、役場庁舎、オガールイン（ビジネスホテル）のラウンジ等、オガール保育園には、町内の間伐材等を利用した暖房や給湯、冷房用の地域熱供給が行われており、木質バイオマスの活用にも取り組んでおります。</p>	
17	質問	紫波二中は防災マップでは浸水地域となっている。その様な所に校舎を建てても大丈夫なのか。見直す余地があるのではないのか。	高木公民館
	回答	<p>計画を予定している紫波第二中学校の敷地は、過去に浸水した記録は残されておられません。国土交通省の浸水シミュレーションマップに基づき、新校舎の建設に当たっては、盛土により1.2mのかさ上げを予定しています。</p> <p>なお、大雨により河川が氾濫した場合など万一の事態を想定し、避難経路の確保や避難方法など災害時の対応計画を定め、有事の際の児童生徒の安全確保に最大限努めてまいります。</p>	
18	質問	オガールの駐車場の料金を値上げした理由は。	高木公民館
	回答	<p>【この質問には議会から回答します】</p> <p>施設修繕や施設更新を見据えた自主財源の確保と利用者増加に伴う駐車場不足解消のため、近隣市町と使用料金を比較し料金の改定がなされました。</p>	
19	質問	オガールエリアの収支のバランスはどうなっているか。非常に財政が厳しい中、将来破綻が生じないか心配なので、収支を明確に公表してほしい。	日詰 鈴の音
	回答	オガールエリア内の運営事業者については、前年決算において全ての事業者が単年度黒字となっております。また、町が出資しているオガール紫波(株)及びオガールプラザ(株)の経営状況については、町ホームページで確認することができます。	
20	質問	予算決算の消費税の計上はどうなっているか。消費税を国に申告しているのか。	日詰 鈴の音
	回答	<p>町で収入する使用料等については、税負担の適正な転嫁に対応し消費税額を上乗せしております。</p> <p>また、消費税の申告については、一般会計においては消費税法の特例により適用外となっております。なお、公営企業会計である下水道事業においては申告をしております。</p>	

令和元年紫波町議会報告会 町政に関する質問

番号		町政に関する質問	会場
21	質問	役場は縦割り主義でないか。部があって課・係であるが、少子化・産業・雇用の問題は、全体が連携しプロジェクトで東をどうする、西をどうする、紫波町を良くするように縦、横の連携があってもいいのではないか。	北上公民館
	回答	町全体の少子化対策、産業振興については、従来の施策に加えて地方創生により部局を横断して取り組んでおります。その結果、町全体の人口減少は今年度から横ばいとなり、産業振興についても企業誘致や起業支援により一定の成果が出始めております。 一方、地域単位では人口減少が進んでいるところもあり、町だけの課題解決は難しいところです。このことから、町では人口減少などの地域課題の解決のため、住民が地域課題に取り組む「地域運営組織等形成支援モデル事業」を推進しており、事業導入の支援を行っております。	
22	質問	長岡の栃内では、人が少なく自治会を解散したいと言っている。大事なことなので把握すべきではないか。限界集落について、町としての認識はどう捉えているか。	北上公民館
	回答	町では直接、町民の皆さんから情報をいただいたり、各地区を巡回しヒアリングを行うなど、地域の状況把握や相談対応を行っております。人口減少が進む中で、これまで、住民・地域・行政が一緒に進めてきた活動などは、その目的や、地域で真に求められている役割を再度確認し、地域コミュニティが維持できる状態に変えていくことも必要であると考えております。 町としては、「地域運営組織等形成支援モデル事業」などを活用していただくよう支援を行っております。	
23	質問	北上川の紫波橋上流で浚渫を行っている。浚渫土はどうなるのか。城山上流の館森神社向い側で木の伐採をしているが、限られた所だけか。これからの工事はどうなるのか。	北上公民館
	回答	北上川の浚渫は、国土交通省岩手河川国道事務所の令和元年度事業で、浚渫土砂は町内をはじめ、盛岡市の工事現場など数か所に分散して処理しております。また、木の伐採につきましては、町内で今回予定されているのは長岡と古館の岩崎川合流付近、紫波橋下流側の浚渫作業ヤードとして利用した箇所となっています。 これらの作業は、紫波町だけでなく岩手河川国道事務所の管内で発注されているため、近隣市町でも同様の作業が行われておりますが、来年度以降についての具体的な情報は入ってきておりません。	
24	質問	開校準備委員会は、地域からの意見を吸い上げているのか。	北上公民館
	回答	開校準備委員会の委員の皆様には、必要に応じて委員会での検討内容を保護者や地域の各組織にお伝えいただくとともに、保護者や地域からの意見を集約いただいております。	

令和元年紫波町議会報告会 町政に関する質問

番号		町政に関する質問	会場
25	質問	開校準備委員会について、東部は進んでいるが、西部はどの程度か。小学校の統合は人数が増えるが、少人数教育を否定することではないか。中学校は統合時に100人を切る。実際として統合する意味はあるのか。紫波二中はグラウンドが削られ、また発掘調査などで野球部は練習ができなくなり、またサッカー部は廃部となった。現実を見ないで、教育委員会の案で進めていいのか。	北上公民館
	回答	開校準備委員会の進捗状況につきましては、東部地区及び西部地区とも足並みを揃えて進めております。この度の学校再編については、一義的に町子どもたちに対する教育の充実を優先的に考えたものであり、児童生徒が新しい時代に求められる資質・能力を育むためには、小中一貫教育を推進し、多様な他者と関わる事が重要と捉えております。 また、発掘調査や校舎建築の工事期間中については、部活動が一部制限されることから、他施設の利用などを支援してまいります。さらに、部活動のあり方については、今後、県教育委員会や中体連専門部の方針、生徒の要望、学校の運営体制を踏まえ適切に判断してまいります。	
26	質問	山屋の水道整備について、具体的に今の段階で何年後になるか、管路整備が終了し、中部水道にいつ頃引き継げるか教えてほしい。また、中部水道に接続した場合、1軒の負担金はどのくらいか示してほしい。	山屋公民館
	回答	山屋地区の水道整備については現在、未着手の状況であり、具体的な年度をお示しすることができません。着手後の整備に要する期間については、基本となる水道整備計画を策定し、各施設の詳細設計を行った後に整備着工となります。計画では、整備地域の将来10年間の人口動態を予測し、供給水源量、施設容量、管渠の口径、経路等を決定します。また、当地区では上流と下流の落差が大きいため、現地勾配を詳細に測量した縦断計画が必要となることが予想されます。山屋地区における現在の水源は、供給水量の確保が極めて難しい状況ですが、供給水量が確保できたと仮定して、計画策定に2年、詳細設計及び保健所等県との協議に1年、これらを終えた後の整備工事に5年の期間を要しますので、事業着手から整備完了までに最短で8年は必要と考えております。 中部水道への引継ぎについては、当地区が上水道供給区域に定められていないことから、水道整備計画を策定する段階では、給水区域の変更手続き、整備手法、維持管理費の負担などについて岩手中部水道企業団と協議する必要があります。 水道を引き込み使用するまでの費用については、配水管から住居までの距離により工事費用が異なります。当地区の公道に埋設した配水管からそれぞれの住居までの距離を平均すると約55mとなり、水道引込費用と公道の舗装復旧費を併せて1件あたりの費用負担は150万円程度になるものと考えています。	
27	質問	少子高齢化で今後の農業をどう進めていくか。圃場を手放す世帯の受け皿は十分あるのか。	アンケート
	回答	少子高齢化による農地問題の解決に向けて、関係機関・団体との連携・協力により、地域での話し合いを積極的に進めながら、農業の地域ビジョンとなる「人・農地プラン」の作成・見直しを支援し、農地の受け手となる中心経営体の明確化と農地の集積・集約化、集落営農組織の法人化、経営の多角化等を推進してまいります。 また、農業を支えている兼業農家、小規模農家等の役割を大切にするとともに、多様な担い手を確保・育成し、次世代に継承できる地域農業を構築してまいります。	

令和元年紫波町議会報告会 町政に関する質問

番号	町政に関する質問		会場
28	質問	学校再編に係る地域との調和をどう図るのか。	アンケート
	回答	<p>「紫波町立学校再編基本計画」では、学校運営協議会制度の導入（コミュニティ・スクール）により、子どもたちの未来創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取り組みを進め、目標やビジョンを共有しながら、「開かれた学校づくり」、「地域とともにある学校づくり」を推進していきたいと考えております。また、まちづくりについては、町全体で現状を把握した上、関係各課等の連携のもと協議・調整を進めてまいります。</p>	